



ブドウ栽培の上に設置される
太陽光パネル



太陽光発電設備全体像



支柱の一部に木材を使用

<施設概要>

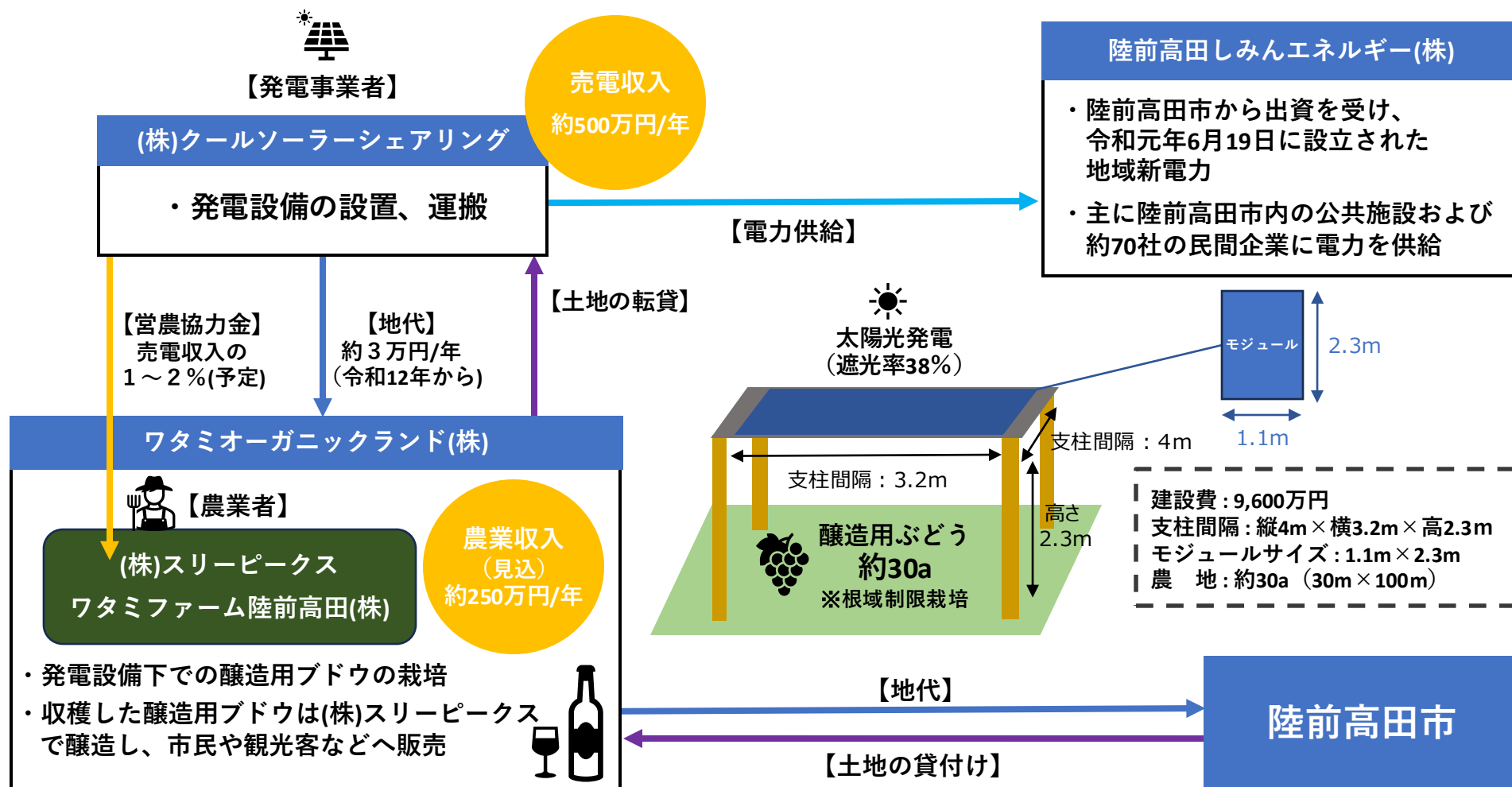
- 事業実施主体：陸前高田市営農型再生可能エネルギー検討協議会
(岩手県陸前高田市)
- 発電設備：営農型太陽光発電
- 発電出力：173.25kW
- 発電電力量：287,000kWh/年
- 発電設備下部の農地：約30a（醸造用ブドウの根域制限栽培）
- 建設費：9,600万円
- 運転開始時期：令和6年8月

<取組内容>

- 東日本大震災の津波の被害を受けた県立病院跡地の活用に向けて、全国に飲食店やお弁当宅配を展開するワタミグループが中心となり陸前高田市で農業のテーマパークの開園を検討。土地の状態が良なくても実施できる農業を考え、根域制限栽培でワイン用のブドウを栽培する案に行き着いた。
- 当初は農業者も営農型太陽光発電には懐疑的であったが、協議会を設立し先進事例を視察することで、理解度が徐々に高まっていった。
- 営農型太陽光発電の下部農地では、ワタミファーム陸前高田からスリーピークス（大船渡市）に委託し、ワイン用のブドウ（ヤマ・ソービニオン等）を栽培し、醸造、販売予定。
- 発電設備は農地の上では機械的に見えることもあるため、支柱の一部に木材を利用することで、景観に配慮したデザインとなるよう心掛けた。
- 発電された電気は、魅力ある循環型地域づくりのためのエネルギー事業等を目的に市や地元企業が出資して2019年に設立した新電力「陸前高田しみんエネルギー」から市内の公共施設等へ供給している。



陸前高田市営農型再生可能エネルギー検討協議会・岩手県陸前高田市



今後の展望

- 未利用地や耕作放棄地で営農“強化”型太陽光発電を拡大し、安定的な営農経営モデルをつくりたい
- 新しい農業に挑戦したい方と一緒に、新規就農者育成や農林福連携など多様な形で一次産業を盛り上げたい